

すぎなみ大人塾 ~自分を振り返り、社会とのつながりを見つける大人の放課後
夜コース

すぎなみソーシャル・デザイン塾・すぎなみをデザインする社会起業家になる

第一回 「つながりをデザインする」 07年6月20日(水) 19時より

講演：(株)三井物産戦略研究所 新谷大輔さん

始めに

05年から始めたすぎなみ大人塾ですが、今年は第三年目に入ります。振り返ると05年の大人塾(社会起業家塾)は、自分の身の回りにある課題を見つけ、その解決方法についてビジネススキルを活用して起業化モデルを作ることにより地域に入るキッカケづくりをすることでした。

06年の大人塾(すぎなみソーシャル・デザイン塾)は自分と地域についてのつながりに気付いて欲しいとの講座でした。

地域社会に出会うためのスキルや体験型ワークショップを通じて自分とのつながりを知るとか、地域資源を活用して学校への関わり方を学習したりとか、杉並の固有価値の掘り起こしをしてすぎなみをデザインすること等を学びました。自分と社会とのつながりに気づき地域で活動して欲しいと考えたからです。

07年の大人塾(杉並をデザインする社会起業家になる)は05年06年のミックス版です。

第一章：つながりのポイントを知る

第二章：行政機関との協働から学ぶ

第三章：企業との協働から学ぶ

第四章：社会を変える事業を創出する

地域とのキッカケ作りから地域を変える社会事業のモデルづくりまでやりたいと考えています。

第一部

1 デザインの原点

デザインするとは、自分が意識していないものを自分で顕在化させることをいいます。自分と社会との関係は今まで考えていなかったことに気づき、社会とのつながりを自分で見つける、構想化する、行動するなどの過程をいう。人の本質的な源泉だと考えます。

2 キャピタルという考え方

1) キャピタルとは資本のことですが、社会教育では

ヒューマン・キャピタル(個人個人の能力資質)

ソーシャル・キャピタル(個々人の能力資質が幾重にも重なって出来上がるのもの)が大

切です。

個人の能力資質は大切です、この能力資質が重なれば社会的な値打ちが出てくるが、さらに他者や社会との関係に結びつけば新たな動きが出てくることになる。社会の組織やコミュニティ、人間関係等に影響が出てくることになるから重要です。

<社会的な関係性が保てない、薄れている等の事例です>

●ひきこもり 160 万人以上、ニートの数 62 万人

●日本における社会的課題

ホームレス、若者層の失業、自殺の増加、犯罪と不安感の増大、食の安全性の信頼低下
コミュニティ崩壊、不登校児童・生徒の増加、止めしティック・バイオレンスと児童虐待、急速な高齢化

●産業構造の変化、デフレ不況等、様々な要因から社会が変容している

お上意識の変化、都市化・過疎化・空洞化、社会不安、個人主義の暴走

●負の連鎖も見える

コミュニティの崩壊 行政不信 企業不信 ルールの喪失 信頼の欠如 ネットワークの欠如 「負の連鎖を断ち切り、正の循環サイクルに戻す必要がある」

<薄れている社会的な関係性を信頼のあるつながりに回復チャートです>

●みなさんの生活の場を通じて信頼の回復を図ることが必要です、様々な社会の課題を解決しながらコミュニティやつながりを再生する。

●ソーシャル・キャピタルを生かす連鎖反応を起こすことが大切であることになりませんが連鎖反応のサークル

市民参加 NPO 新しい公共 パブリックビジネス CSR コンプライアンス 協働（行政・企業・NPO 等） 市民参加

2) ソーシャル・キャピタル、ソーシャル・デザインとは

社会的な関係性を信頼あるつながりに回復するとは、コミュニティ内で、信頼・規範・ネットワークをつなげ、共有点を見つけることです、ソーシャル・キャピタルの醸成を意味します。

「ボーリングアローン」の著者 R・パットナムは、ソーシャル・キャピタルの衰退の主な要因は

TV の台頭、女性の役割変化、人々が様々なところに移動する機会が増えたこと、ライフスタイルの変化、世代毎に行動や価値観が違ふようになったこと等だといっています。

●社会的なつながりが経済の繁栄や経済発展の持続に必要な要素だとするとつながりを強くする糊（のり）がソーシャル・キャピタルです。糊は強い方がいい時と悪い時とあり場合によります。

- ソーシャル・キャピタルの構成要素

付き合い、交流、信頼、社会参加、さらに、政治体制や文化などの社会的要素も入ります。

- 五つの私を考えてください。

会社の私・地域の私・趣味サークルの私・家庭の私・消費者の私

このような五つの私がありますが、各々の私の枠をはみでることにより新しい世界が生じてくることとなります。

Q&A：あなたはどんな「私」を持っていますか？

- ソーシャル・デザインについて

五つの私のケースで考えると、会社の私と地域の私をつなぎなおす活動を通じて社会を再作成・再変化させることをソーシャル・デザインするといえます。

- ソーシャル・デザイナーについて

社会とのつながりに気付き、社会情勢やトレンド、将来像をふまえ、地域を俯瞰で見ると新たなつながりを作っていくことができる人です。 つながりのポイントを見出せる人

- この講座では、参加者の皆さんがソーシャル・デザイナーとなって社会の(杉並の)新たな形づくりの担い手(きっかけを作り人)になるまで進んでいきたいと考えています。

第二部

3 あなたの未来をデザインする原点

1) あなたはどんな「未来」を描いていますか？

自分に自問します、自分がどうなって欲しいのか？ 自分で自分に確認しないといけないのですが、自分で目標設定をすることが難しい。そこで

2) 未来デザイン

「ありたい私」・・・普段の行動の中に未来の兆しを発見する

「ありうる私」・・・専門領域のテクノロジーや未来の可能性情報を集め、俯瞰的に捉えると見えてきます。

「あるべき私」・・・様々な分野の有識者の知恵を集め参考にして考えると新しい未来の視点を模索することができます。

3) 自分の未来をデザインする

- どんな社会になっていますか(理想像)・・・あるべき未来を書く

- どんな技術や製品があふれる社会ですか・・・ありうる未来を書く

- あなた自身はその未来の中でどんな役割を果たしていますか・・・ありたい未来を書く

この書き込みをしたことにより私をデザインする要素が出てきます。

4 この講座の狙いとなりますが

- 多様な「私」を認識する、特に自分の強みと弱みが分かると、そのつなぎ目を見つける発想が生まれます。

●未来を認識するようになります。

つなぎ目を意識して長期的な視点で考えることができます。自分の位置づけがはっきりします。

●社会を認識するようになります。

情報収集によって得られる社会や顧客のニーズや変化が分かり、つなぎ役ができるようになります。

●つなぎ目を意識した提案力が生まれます。あなたの行動が主体的になり自分自身のアイデアを提案するようになる。

5 すぎなみソーシャルデザイン塾が目指すこと

1) 個人、企業、杉並区、NPO など、様々な異なる人、組織、考え方等の「つなぎ目」を見ついたり、つないでいく「協働」という視点を考えていきます。

2) そして、参加者1人1人、またはグループで新たな協働モデルを考えます。

3) その際、社会的起業家精神を入れて、ビジネス視点を必ず加えていくようにします。

4) 最終的には、一人一人が「つながり」を意識して社会をデザインする社会起業家へと成長するためのキッカケを見出すことができればと思います。

なんらかの社会的課題を解決することを目指したいと考えますので、08年3月末までに社会的事業モデルを考案することが目標です。

備忘メモ作成：東島信明